

報道関係者各位

2019年1月16日

## 「輸入車レンタカー」の認知度4割超え — クルマの利用に新しい選択肢 —

株式会社ヤナセ（社長：吉田 多孝、本社：東京都港区）は、20歳以上の免許保有者に実施した「輸入車レンタカーの認知度・利用意向」に関するアンケート結果を発表します。

▶ 調査結果サマリー

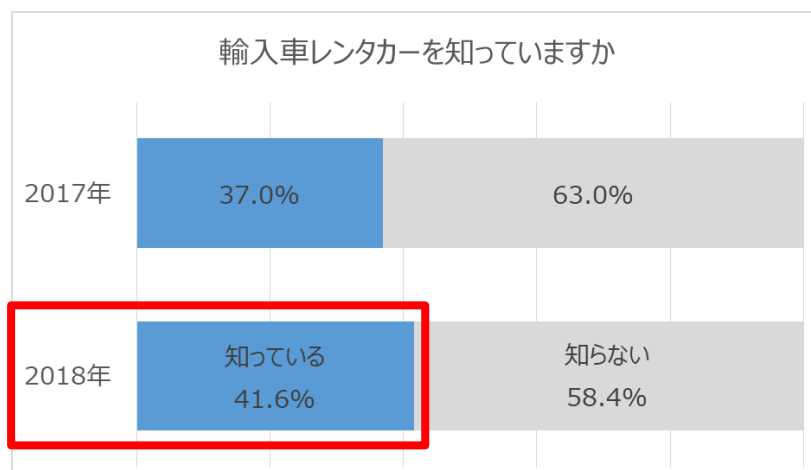
- ① 輸入車レンタカーの認知度4割超え
- ② 男性20～30代の6割が「輸入車レンタカーを使ってみたい」と回答
- ③ 男性20代の1割が輸入車レンタカーの利用経験があり、年代別では最多
- ④ レンタカー会社を選択する理由の1位は「低料金」

ヤナセは2017年から輸入車レンタカーの認知度と利用意向の調査を実施しています。今回の調査で輸入車レンタカーの認知度向上が確認できました。

2018年の「輸入車レンタカーの認知度・利用意向」に関するアンケート結果詳細は以下の通りです。

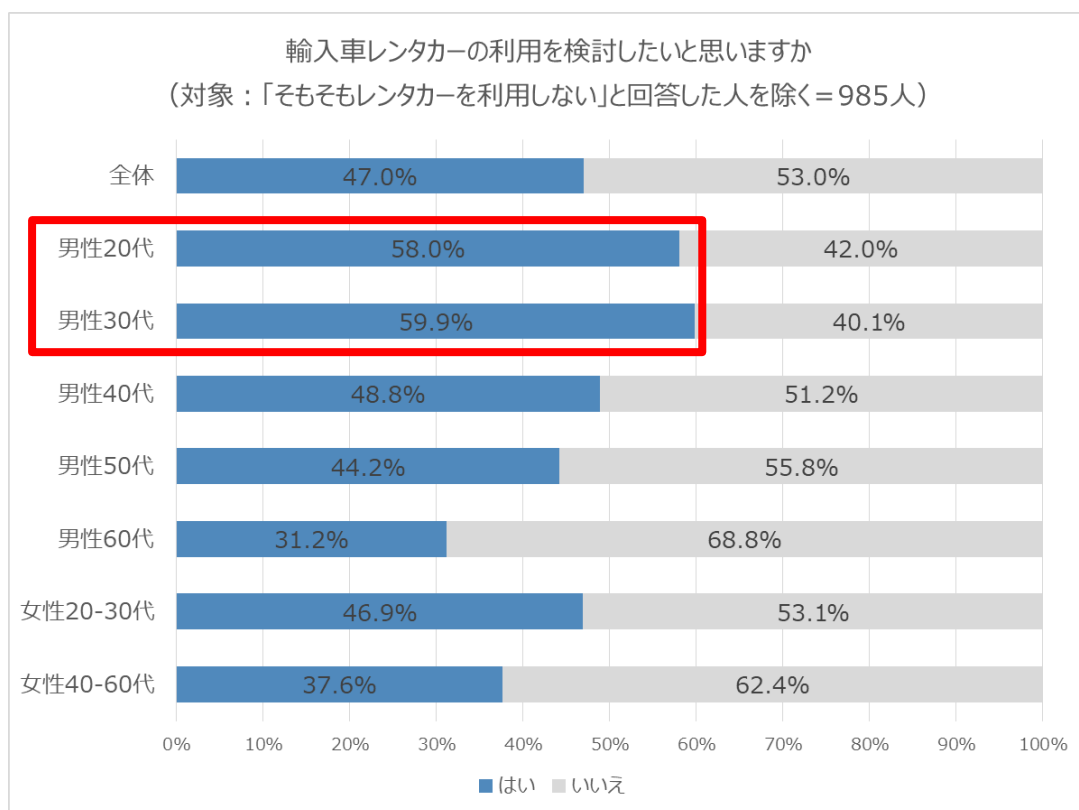
① 輸入車レンタカーの認知度4割超え

輸入車レンタカーの認知度は全体の41.6%で、前年の第1回調査(2017年10月19～23日)と比較して5ポイント上昇した。



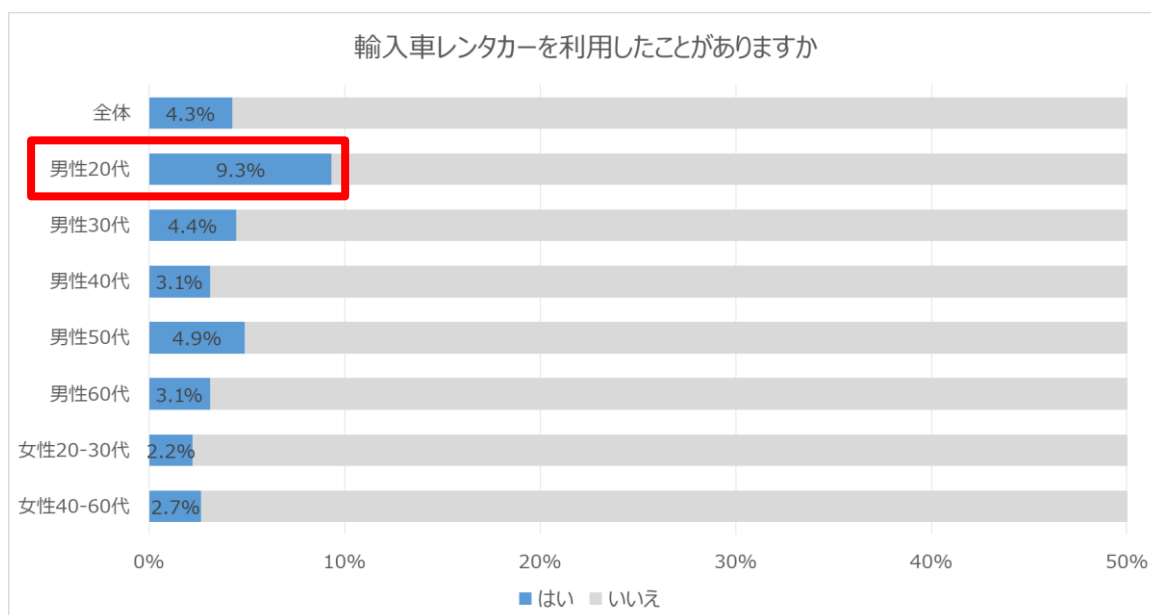
### ②男性20～30代の6割が「輸入車レンタカーを使ってみたい」と回答

「男性20代」の58.0%、「男性30代」の59.9%が輸入車レンタカーの利用を検討したいと回答。男性20～30代の高い利用意向がうかがえる。



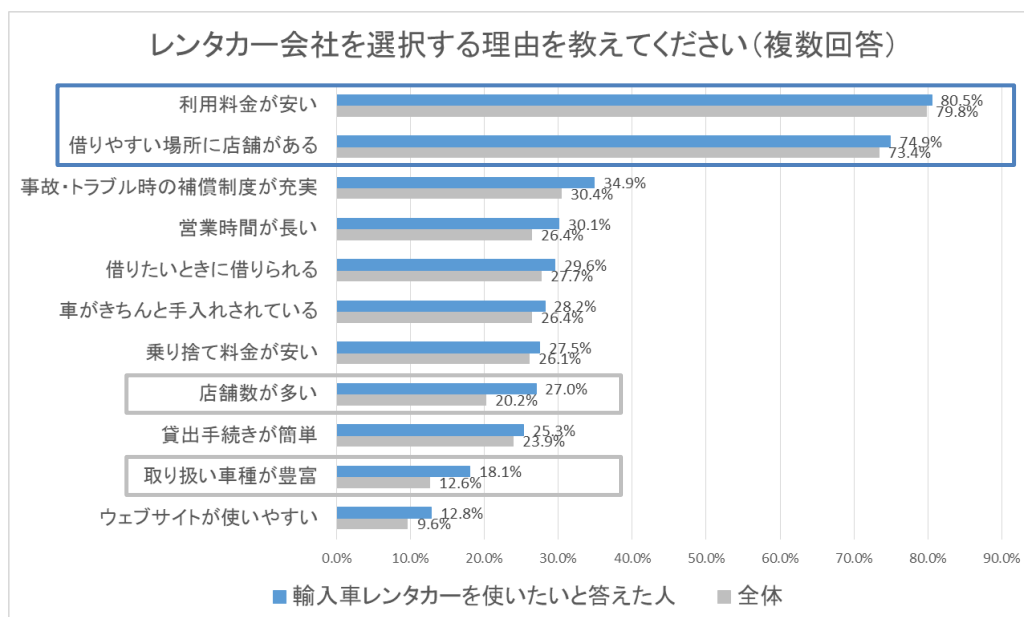
### ③男性20代の1割が輸入車レンタカーの利用経験があり、年代別では最多

輸入車レンタカー利用経験者は、全体の4.3%にとどまったが、男性20代の1割は輸入車レンタカーの利用経験があり、年代別では最多。



#### ④レンタカー会社を選択する理由の1位は「低料金」

輸入車・国産車にかかわらず、レンタカー会社を選択する理由は「利用料金が安い」が1位。「借りやすい場所に店舗がある」が2位だった。一方、「店舗数が多い」や「取り扱い車種が豊富」は、輸入車レンタカーを使いたいと答えた人と全体との回答の差が大きく、輸入車レンタカー会社を選ぶ際には「店舗数や車種数も重視」されていることがうかがえる。



#### 【調査概要】

調査対象者	20歳以上の免許保有者 1,575人
調査地域	関東(東京・神奈川・千葉・埼玉)、関西(大阪・兵庫・京都)、東海(愛知)
調査手法	インターネット調査
調査期間	2018年10月9~15日

ヤナセはニッポンレンタカーサービス株式会社と提携し、輸入車レンタカーサービス「ヤナセ プレミアムカー レンタル」を展開。2018年12月にはフォルクスワーゲン「ポロ」の最新モデルをいち早く導入しました。今後さらに、メルセデス・ベンツやBMWなどの最新モデルを導入し、「クルマの利用」に新しい機会を創造していきます。

#### ◆ヤナセ プレミアムカー レンタル

2015年8月、最新輸入車のレンタカー事業トライアルを北海道で実施。2016年4月から東京都と地方の主要都市でトライアル地域を拡大するとともに、メルセデス・ベンツに加え、BMWの取り扱いを開始し、対象モデルを拡大。2017年2月、日本初の全国規模の輸入車レンタルサービスとして47都道府県で本格稼働。専用カウンターを2016年12月に東京都千代田区の新丸ビル、専用店舗を2017年12月、北海道の新千歳空港そばに開設。2018年12月現在、メルセデス・ベンツ、BMW、アウディなどのヤナセ取り扱い車約500台を配備し、全国のニッポンレンタカー営業所で貸し渡しを実施。2018年4月に開設した伊藤忠商事(株)の独自寮「日吉寮」に、カーシェアトライアルとしてメルセデス・ベンツ、アウディを実験的に配備するなど、多面的に事業を展開中。